

元気アップ仙台天命塾 335 回オープンセミナー

澤野大樹 仙台セミナー第二十三章

『縄文スピリットの逆襲』

～全ての怨霊達よ私達と共にあれ～ in 仙台』

【講演へのメッセージ】

さて、前回 5/19（土）の開催から 50 日経ちました。

いよいよ仙台天命塾での講演会「第 23 章」となります。

わずか 50 日の間に、世の中では途轍もない事件事故スキャンダルが洪水のように溢れました。

そのあまりの怒涛の勢いに対し、私たちはもはやそれぞれを個別に考量する余裕すらありません。

この背景には一体どのような力が作用しているのでしょうか？

目まぐるしく変遷する社会のコンテンツに右往左往するのではなく、一番効果的なこととは、

このような状態であるからこそ冷静になり客観的に冷ややかな目線で思量することです。

すると、あらゆる「事象」の背後にはあるものが通底していることがわかってきます。

これは「陰謀論者」にとってのひとつの「峠」であり、乗り越えなければいけない関門でもある。

私たちは今、霊的な選択に迫られているのだ。

「絶対に抗えない圧倒的な強者である奸計の主」に対して自己を

「永遠の被害者」と置き続けて一生を終えるのか、

それとも、「絶対に抗えない圧倒的な強者である奸計の主」こそが

じつは虚構の存在であり、畏であり、

私たちを「永遠の被害者」と位置付けさせている主体こそがそもそも「奸計の主」であることを看

破し、

それを自らの意思で確かめ、乗り越えていく人生を歩むのか。

どちらを選択するかは完全に各々の自由意志に委ねられている。

しかしそこに「自由」が残されているという事実を知覚できないのであるならば、

それこそまさしく奸計の成果に他ならない。

奸計の「知られざる秘密を暴露」しているはずのこの“正義”の私が、

なんとまさか奸計の走狗として使役され、

奸計の片棒を担いでいたということを「知らずに生きる」ということだ。

私たちはそんなことのために生まれてきたんじゃない。

“彼ら”は、純粋な人々の素直な正義感をそっくりそのまま有効活用する。

虚構の敵を見せ、虚構の歴史を示し、さあ正義のために戦えと鼓舞し焚き付ける。

——そう、“彼ら”はノイジー・マイノリティ。

これからサイレント・マジョリティである縄文スピリットが現れるのだ。

その精緻な流れとメカニズムについての壮大なドラマの一局面をお話しいたします。

何を差し置いても参加する価値のある講演会です。

ぜひお越しください。お待ちしております！

澤野大樹（さわの・たいじゅ）さんのご紹介

1971年東京生まれ

INTUITION <http://www.intuition.jp/>

日本大学芸術学部映画学科卒業。たま出版、たまメンタルビジネス研究所にて、日本のスピリチュアル界の草分け的存在であった瓜谷侑広氏の下で研鑽を積む。

独立し、1997年より独自の哲学的視点を綴った『情報誌 INTUITION』の発行が始まる。以来、19年間経った今でもその執筆は続いている。

この『情報誌INTUITION』の執筆が、私の活動の基礎中の基礎であり、ここから様々な企画などに派生していくことになる。たま出版時代から、成功法則、思考現実化法、サブリミナル、マインドコントロール、玄米菜食、魔術、超能力開発、ヒーリング、占い、瞑想、自己催眠術、パワースポット、秘密結社、陰謀論など、ありとあらゆることを体験し、そのことを踏まえた上で書かれる『情報誌INTUITION』は、客観的で多次元的という非常に稀有な形態を持っている。

執筆している本人に、「これから何を書くのか？」ということに対する明確な意識は存在せず、執筆しながら本人が一番驚き、感動し、喜ぶというこれまた稀有な創作過程となっている。それゆえに、完成された情報誌は、もはや「この世のものではない」と言われている。

通常想定される「情報誌」というものとはまったく違い、筆者は、この情報誌の執筆を、ひとつのストーリーを紡ぎ描く手段であると捉えている節がある。いきなり出会っての初見では何が書いてあるのかわからない。しかし、じっくり何度も読んでいくうちに、後になってからジワジワと効いてくるという、不思議な感覚を呼び覚ます珍しい情報誌となっている。

そんな筆者だが、たまに勉強会や講演会なども行っている。講演は、すべての文言が一字一句逃さずに、講演直前に活字化され、講演原稿として用意される。講演と同時に100%完璧な活字版も完成しているところが大きな特徴である。これまでの講演会は、すべて100%活字で保存されている。

また、このインターネット全盛期の現代において、『情報誌INTUITION』は、A4用紙による紙媒体による発行だ。なぜならば、現代においても、国家間の取り決めや条約の調印式は必ず紙の書面に万年筆であるように、歴史に残るものを創造する場合は、紙に記す必要があると考えているからだ。紙ならば1000年経っても残るからだ。『情報誌 INTUITION』をぜひご購読ください。

著書「瀬織津姫システムと知的存在MANAKAが近現代史と多次元世界のタブーを明かす」文芸社

- ・日 時： 2019年7月7日(日) 15時半～19時頃 (開場 15時)
- ・会 場： あわの里 天命舎 仙台市青葉区国分町 3-9-32 仙台 ATOWAビル 5階 022-399-7674
- ・参加費： 5000円 (仙台テンメイ会員以外&当日参加 5500円) 参加費は当日支払下さい。
- ・定 員： 20名
- ・懇親会： 講演終了後、澤野さんを囲んで懇親会を開催します。希望の方は申込下さい。
- ・申込み： 参加申込書に記入し、FAX、電話、Emailで申込み下さい。
- ・問合せ： 仙台天命塾 大久保 TEL/FAX 022-279-1024 090-8786-7300
E-mail atowa999@gmail.com 仙台天命塾 HP <http://genkiup.net/>

仙台天命塾 第335回オープンセミナー 参加申込書
FAX 022-279-1024

講師 澤野 大樹さん
2019年7月7日(日)

氏名		会員	TEL		
E-mail			FAX		
住所	〒			懇親会参加	